

丹波中学校だより
清流の辺
せい りゅう ほとり

平成27年8月24日(月)
No. 9
文責 丹波中学校長 梶原勝由

代表を背負い、投げ、跳び、走った県総体

7月25日(土)に山梨県総合体育大会柔道の部、29(水)・30日(木)に陸上の部がありました。猛暑の中、支部の代表としてよく頑張りました。この経験をこれからの学校生活に生かしてください。結果は以下の通りです。

- | | | |
|------------------|------|----------|
| 〈柔道の部 男子個人66kg級〉 | 嶋崎龍弥 | 2回戦敗退 |
| 〈陸上の部 2年男子砲丸投げ〉 | 嶋崎龍弥 | 8m72 |
| 2年男子100m〉 | 廣瀬賢 | 13"17 |
| 2年男子3000m〉 | 船木俊成 | 11'10"08 |



私の中学生の頃

担当は廣瀬清美先生です。(次回は齊藤光弘先生です)

私の母校は、ここ丹波中学校です。今から20数年前の卒業生です。私が丹波中学校に入学する1年前に、同じ丹波山村にある鴨沢小学校と鴨沢中学校が閉校となり、丹波小学校と丹波中学校と合併しました。それに伴い、スクールバスも運行されるようになり、私もスクールバスで通学しました。当時スクールバスを利用する小中学生が20名以上いて、バスの中も学校もにぎやかでした。私が入学した当時は、生徒数が44名ほどいて、私の同級生は、私を含め15名でした。部活動は野球部、男子バレー部、女子バレー部、卓球部がありました。野球部は部員数が少なく、試合の時は男子バレー部の生徒が借り出されて試合に出ていました。私は女子バレー部に所属していました。学園祭は、1日目が文化部門で劇や合唱などをしました。昼食は、事前に村の人たちに食券を売って、各学年ごと自分たちが作ったものを販売しました。五目ご飯、やきそばなどを作った記憶があります。2日目は体育部門で、強歩大会でした。柳沢峠までバスで行き、柳沢峠をスタート、男子は一ノ瀬高橋地区を経由、女子はそのまま国道を走りゴールである丹波中学校までというコースでした。強歩大会は毎年イヤでイヤで、2年生の時たまたま強歩大会の前に膝を痛めてしまい、走ることができなかったのをラッキーと思いました。そんな強歩大会は、私が卒業した年から開催されなくなって、なんでもっと早くなくならなかつたらうなんて思いました。現在丹波中学校で伝統となっている全校音楽は、私が卒業して3年後、丹音音楽祭で講師として来てくださっている薬袋貴先生が丹波中に赴任されてから盛んになりました。定期音楽

会もその頃から始まりました。学園祭の名前が「清流祭」となったのもその頃からのようです。

今の丹波中学校からすると、当時の丹波中学校の環境はというと、決してお世辞にも良い環境とは言える環境ではありませんでしたが、3年間の思い出は、良いことも悪いこともたくさんあって、思い出すのは楽しいです。

職場体験② 丹波山村にて

2年生4名が夏休み中に、丹波山村で職場体験を行いました。関係機関の方々、大変お世話になりました。感謝しております。体験場所は、のめこいの湯・釣り場・河村制作所・社会福祉協議会でした。



ケビンニース先生！ありがとうございました。

一昨年の7月からALTとして英語を指導してくださいました、ケビンニース先生が7月21日をもってアメリカのウェストバージニア州に帰国しました。2年間ありがとうございました。



私の勉強方法-中学生時代

担当は齊藤光弘先生です。

家で勉強することが嫌いだった。家に帰ってテレビを観たり、本を読んだりすることを重視して、宿題や課題をするくらいだった。それも先生に叱られるのがイヤだったから。一人で黙々と勉強するのが性に合わなかったんだと思う。でも、テストでは点数を取らないと「遊んでいるから」「勉強しないから」と言われる。それもイヤ。でも家で勉強するのはイヤ。なので僕が考えた(?)方法は、授業は集中して聴くこと。家でやらずに学校の授業で全部覚えるつもりで授業を受けた。気を抜かないで学習に取り組むことを決めたら、新しい発見が意欲をくすぐる。「授業っておもしろ〜」と思うことが増えてきた。そうしたら勉強は楽しくなった。特に数学と理科。社会も歴史は楽しかった。僕はあんまり「勉強がんばった」とか「苦しんだ」記憶が中学時代はなかったです。中学時代はね。